

平成29年度 第2回自己評価の分析

設問項目	肯定的回答 (%)			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	86	90	100	8割を超える生徒が学校生活は楽しいと答えている。職員・保護者の認識も一致している。生徒の割合については、保護者・職員よりも下回っている。活動によっては、苦手と感じているものもあるようである。引き続き苦手なものでも前向きに考えて取り組めるように働きかけていく必要がある。
【設問2】 学校施設	88	93	97	生徒・保護者・職員とも8割以上が肯定的な認識を持っている。新校舎2年目で、駐輪場・駐車場も整備され、新しく便利で使いやすいという意見が多い。今後、新しい校舎の有意義な使い方及び環境整備を更に考えていく必要がある。
【設問3】 情報発信	87	85	100	肯定的な回答が8割を超えている。学校だより「刮目」を26号発行し、生徒の活躍や学校の様子がわかりやすいという評価をいただいている。しかし、部活動の連絡についての要望や、学年・学級の様子をもっと詳しく知りたいという意見もある。保護者や生徒に対してより充実した情報発信を引き続き、心がけていく必要がある。
【設問4】 地域交流	67	68	88	保護者・職員とも前回よりも上回っている。地域との交流で、やっさ祭り後の清掃活動や東金市のクリーン作戦などに参加したことが影響していると考えられる。今後も地域の方々との交流が深められるような取り組みを工夫していく必要がある。
【設問5】 いじめ防止	72	75	100	生徒・保護者とも肯定的な回答は70%程度で認識は一致している。職員は100%であり、いじめのない学校作りに努めている。今後、更に、生徒が毎日、安心して登校できる場を維持するために、いじめの早期発見・早期対応に努めていく必要がある。
【設問6】 わかる授業	84	79	100	生徒・保護者とも前回よりも下回った結果となっている。職員は100%となっている。生徒に「わかる授業」を展開し、学力向上を更に進めるために授業改善が必要である。また、授業規律を徹底し、生徒が主体的に学習に取り組む工夫を行っていく必要がある。
【設問7】 誠実な 相談活動	78	82	100	生徒・保護者とも前回よりも下回った結果となっている。職員は100%となっているが、まだ、生徒・保護者との間に認識のずれが見られる。引き続き、定期的な相談活動だけでなく、毎日の生徒や保護者との関わりを大切にして、信頼を築いていかなければならないと考える。
【設問8】 生徒理解 公平な評価	73	78	100	生徒・保護者とも前回よりも下回った結果となっている。職員は100%となっているが、まだ、職員との認識の差は大きいといえる。引き続き、生徒・保護者との対話を丁寧に行い、生徒理解に努める必要がある。また、評価においても客観性を高めるとともに、次への意識付けが図れるように工夫していく必要がある。

設問項目	肯定的回答(%)			分 析 内 容
	生徒	保護者	職員	
【設問9】 教育環境	89	91	100	生徒・保護者・職員とも約9割以上が肯定的な回答である。施設が新しくなり、新たな掲示物の作成を1学期同様に情報担当の職員を中心に丁寧に行っている。今後も生徒の生活に有効な環境整備に努めていくことが大事である。
【設問10】 授業への取り組み・時間を守る	88	85	89	生徒は前回同様である。しかし、保護者・職員は前回よりも下回っている。生徒の授業への取り組みは、概ね良好であるが、時間への意識が前回よりも低くなっていると考えられる。今後、わかりやすい授業を展開し、生徒が学習課題にじっくりと取り組み、学力向上へつなげられるよう指導していく必要がある。
【設問11】 交通ルールを守る	96	72	77	前回よりも生徒と保護者・職員との認識の差は縮まってきている。まだ、時折、地域の方々・保護者の方々からの苦情もいただいている現状はあるが、お褒めの言葉もいただくようになった。更に交通に関する安全指導を日常より心がけ、保護者等の協力を得て、安全な登下校となるように努めていく必要がある。
【設問12】 元気な あいさつ	90	68	56	前回同様、生徒・保護者・職員の認識に差が見られる。学校生活では生活委員会を中心にあいさつ運動を展開しているが、まだ、保護者・職員とも課題はあると感じている。社会生活を営んでいく上で重要である「あいさつ」が定着するよう継続的な指導が必要である。
【設問13】 身だしなみ	94	91	97	前回同様、生徒・保護者・職員とも9割を上回った結果となっている。生徒の規範意識が向上している結果となっている。今後も清潔感のある中学生らしい身だしなみで生活できるよう指導を継続していく。
【設問14】 清掃活動	91	89	57	生徒の肯定的な回答は9割を超えているが、職員はまだ、5割にとどまっている。生徒がイメージする清掃と職員が期待する清掃の取り組みについての意識の差が大きいようである。引き続き、公共心や勤労の精神の心構えを持ち、意欲的に清掃活動が進められていくように指導していく必要がある。
【設問15】 保護者の参加	65	59	89	前回よりも生徒が下回り、保護者は上回っている結果となっている。合唱コンクールや親子奉仕作業・授業参観など、多くの保護者が積極的に参加してくれている現状がある。今後も更に、多くの保護者が参加できるよう企画を工夫し、開かれた学校づくりを目指した学校運営を心がけていく必要がある。